

# 目次

序文	7
神武天皇實在論―神武東征と水田耕作―	11
第一章 日本歴史の問題點	13
一 神武天皇論―戦前と戦後―	13
二 神武天皇論の變貌とGHQの占領政策	15
三 ドナルド・キーン氏の日本會計研究學會での特別講演	17
第二章 神武天皇と神武東征	20
一 神武天皇の降誕の地	20
二 神武東征の出發地…美々津	21
三 神武東征の理由	23
四 宇佐と遠賀川河口・芦屋町	25
五 安藝・吉備と浪速・熊野	29

第三章	神武天皇の國家統治	33
一	神武天皇詔「六合開都、八紘爲宇」の國家觀	33
二	神武天皇の國家統治	36
三	扇形の國家統治 その1	39
四	扇形の國家統治 その2	43
五	「六合開都、八紘爲宇」と「八紘嶺と六合村」	48
第四章	神武天皇と稻作	56
一	米と日本人	56
二	國家統治と水田耕作	57
第五章	稻・米の地名と神武天皇	59
一	イネと米山	59
二	稻積山と稻積島	63
第六章	神武天皇とモーセの墓	65
一	稻積山とモーセの墓	65
二	モーセの墓と神武東征・國家統治	67
三	山鹿素行と神武天皇	71
四	結 び	73

古代日本の歴史——闕史時代の補填——  
富永浩嗣

第一章 我が御國の歴史について	81
はじめに	81
一、「教育に關する勅」より	82
二、『日本書紀』の記録から	83
三、「日向三代」について	84
四、「大和の國」の先史について	85
五、神武天皇の御聖業について	86
六、「闕史八代論」について	90
七、第十代 崇神天皇の御代	91
第二章 闕史時代の補填	96
一、「闕史論」の見直しについて	96
二、『記』『紀』編纂の理由について	98
三、「日本古代和字」について（其の一）	102
四、『日本書紀』の記述、「一書 <small>あるふみ</small> に曰く <small>いは</small> 」	103
五、「闕史八代論」について	104
六、我國の高遠なる歴史研究の方向性について	105

七、「日本古代和字」について（其の二）	105
八、我國の「古代和字」研究について	107
九、『記・紀』以外の古文獻の存在について	108
(一)『先代舊事本紀』	110
(二)「ウエツフミ」	112
(三)「ホツマツタエ」	113
(四)「ミカサフミ」	113
(五)「九鬼神傳精史」	114
(六)「竹内文獻」	114
(七)其の他の「古史・古傳」について	115
十、戦後に於ける考古學の成果について	116
(一)「岩宿遺跡」の發見	116
(二)「古代大和」と「古代出雲」の實證について	116
(三)我國の「巨石器文化」の調査についての提言	118
資料	120
参考文献	123